

【国際交流】 ハワイ大学教育学部マノア校の方々と交流を行いました。

平成 30 年 6 月 29 日（金）

今年も、ハワイ大学教育学部マノア校の教員や学生ら 9 名が来校しました。

ハワイでは現在もキラウエア火山の噴火が続いていることもあり、津波や火山といった自然災害も身近で、防災教育を軸とした ESD に取り組んでいる本校の教育活動の現状を視察し、授業に参加し生徒との交流を通して日本の教育実践を学び、そして今後の交流について検討する目的で本校を訪れました。

佐々木校長より、本校の概略を説明した後、本校の教育課程や防災・減災教育の取組について、活発な意見交換が行われました。



3 時間目には 1 年生の「コミュニケーション英語 I」の授業に参加していただきました。

1 グループに 1 名の学生等が入り、ハワイの歴史や文化、自然や災害について紹介をしてもらいました。それぞれのグループでは iPad を使用して、ハワイや日本の様々な事柄についてプレゼンしたり、簡単なクイズをしたり、時にはジェスチャーを交えながら交流を行いました。自分たちの国の様々な事柄について知識や情報を共有し、最後には、お互いに話をするのに夢中になり、50 分の授業が短く感じるほど、有意義な時間を過ごすことができました。



【ハワイ交流授業における生徒の感想】

・今日のハワイの方々との交流は私にとってとても良い経験になったと思う。学校のALTの先生と違い、数人グループを組んで話すことはとても緊張したが楽しかった。私はハワイのことといたら「海」くらいしか思い出せなかったが、災害や料理のことも教えてもらえて良かった。また、自分たちも宮城のことを教えられて良かった。



・不安で話せないと思ったけど、大学生の方がジェスチャーや例えなどをしてくれたのでとても分かりやすかったです。外国の人たちと話してみたかったのでとても良い経験でした。またチャンスがあったらやりたいです。授業の最後の撮影のあとに同じグループだった方と写真を撮ったり、話したりしたのがとても楽しかったです。

・今回の交流で私は初めてハワイの方とお話することができました。私たちが考えた質問も、少しずつヒントを出しながら最終的には答えを言ってくれたのでとても嬉しかったです。本場の英語は私が思っていた以上になめらかで、速くて驚きました。



しかし、私たちが「Slowly ,please?」とあやふやな英語を言っても理解してくれ応えてくれてとても楽しかったです。ハワイの方のお話はなかなか理解するのが難しかったけど、質問を理解できた喜びは、とても心に残っています。貴重な体験をさせていただき感謝します。

・初めて外国人と話をしながら授業しました。始まる前は、しっかり話ができるか、コミュニケーションがとれるか不安でしたが、ジェスチャーや簡単なことば、単語を使い、なんとかできて良かったです。相手も一生懸命読み取ったり、伝えてくれたので、すごく嬉しかったです。途中、聞いたことはあるけど意味が分からない単語などがあったので、もっと勉強しないといけないなと思いました。貴重な体験で、すごく楽しかったので、またやりたいです。



・教授のプレゼンをきいて、とてもわかりやすい英語で話をしてもらったというのがあると思いますが、ハワイの災害について全部聞き取れたというのがとても嬉しかったです。自分の英語も雰囲気とジェスチャーで伝わっていたのがとても嬉しく、コミュニケーションというのはとても素晴らしいということを実感できました。またこのような機会を頂けるのなら楽しく会話できたらいいなと思いました。



短い時間でしたが、ハワイのことを学習できたことはとても刺激的で、今後もっと多くの国の方々にも日本のことを伝えていけるような交流を続けていくきっかけとなりました。



【まち歩きの様子】

